

(別紙 7)

長野県におけるジビエ利用拡大を考慮した狩猟者の育成に係る評価報告

1 狩猟者の現状や課題等

捕獲者は野生鳥獣被害を防止するために重要かつ必要不可欠であるが、近年、県内の狩猟免許交付者における 60 歳以上の割合は半数を越えており、高齢化が進んでいる。持続的な捕獲活動のためにも、新規捕獲者の確保及び技術育成が喫緊の課題となっている。

2 1 の課題等に対応するため、本事業で実施した取組内容

実施時期	10 月 5, 6, 19, 20 日	
場所	長野市、伊那市	
目的	狩猟免許を取得したものの実際に狩猟経験の少ないペーパーハンター等に対し、捕獲技術から捕獲個体の解体・ジビエ利用までの実践的な知識・技術の習得を図ることを目的とする。	
対象者・講師 (人数も記載)	対象者：県内の狩猟免許を取得して 3 年目以内の方 延べ 47 名 講師：(株)野生鳥獣対策連携センター	
内容	ニホンジカ等のわな猟及び銃猟による捕獲から個体の解体を行う上で、必要となる知識・技術の習得を目的とした講習会の開催。	
方法	下記のとおり、講習会を実施した。	
	実施日・会場	講習内容
	10 月 6 日(日) 会場:伊那市 10 月 19 日(土) 会場:長野市	・シカ・イノシシの生態 ・箱わなの捕獲技術 ・くくりわなの捕獲技術 ・わな猟の安全管理 ・捕獲個体の解体
	10 月 5 日(土) 会場：伊那市 10 月 20 日(日) 会場:長野市	・シカ・イノシシの生態 ・銃器の捕獲技術 ・銃猟の安全管理・マナー ・射撃姿勢の確認 ・銃猟に必要な装備・道具類 ・捕獲個体の解体
評価方法	受講者へ講習内容に関するアンケート及び令和 6 年度の狩猟活動に係る事後調査を実施。	
事業費	1, 998, 700 円	
備考		

注 1：項目に沿って、実施した研修会等の具体的内容を記入すること。なお、「目的」には育成したい人材像も記入し、「評価方法」には本事業の目的や育成したい人材像に対する事業内容の適切性や事業効果の検証・測定方法を記入すること。

注 2：事業終了後の評価結果では、各項目について、実施した結果を記入すること。

3 2の取組に対する評価と今後の課題等（事業終了後の評価結果時のみ記入）

- ・講習内容のアンケートでは、内容の分かりやすさや今後の役立ち度ともに、「大変わかりやすい」「大変役に立つ」の割合が90%以上となり、受講者の満足度は大変高かった。
- ・事後調査では、受講者の「狩猟期間における捕獲頭数」及び「捕獲したニホンジカのジビエ利用状況」について調査した。回答のあった受講者のうち、令和5年度の捕獲頭数はニホンジカ13頭、イノシシ0頭であったが、令和6年度はニホンジカ32頭、イノシシ4頭に増加しており、講習を通して、捕獲技術の習得を図ることができた。また、ニホンジカのジビエ利用頭数は令和5年度が13頭だったのに対し、令和6年度は31頭に増加し、捕獲個体のジビエ利用拡大についても効果があった。
- ・免許取得後3年目以降も受講可能として欲しいとの要望があった。県内、狩猟者の捕獲技術を向上させるためには、多くの狩猟者に受講してもらうことも重要であるため、今後の講座応募の状況等を考慮した上で、受講対象者の要件緩和を検討していきたい。

注：1の課題及び2の各記載内容等も踏まえ、取組が適切に実施されたか、事業目的に対して効果があったか等の評価を具体的に記入すること。

また、評価を通じ明らかになった取組目的・内容の改善点や今後の狩猟者育成の課題等についても記入すること。

4 その他

注：特記すべき事項があれば記入すること。